



【青島支店】

青島市の産業構造の転換計画について

1. はじめに

現在、青島市は山東省新旧運動エネルギー転換総合試験区（山東新旧動能転換総合試験区）の中核に位置付けられ、経済発展の著しい南方の広東省、江蘇省に追随しようと産業構造の転換を目標として動いています。計画では、2022年までに新しい運動エネルギー主導の経済構造を形成し、2028年までに新旧運動エネルギーの転換を完成させて、2035年までに強力な経済構造を実現する予定です。

2. 青島市は深圳に学ぶ

新旧運動エネルギー転換は「四新」を中核として高カロリーな製造業などの第二次産業からクリーンな情報産業等の第三次産業の強化を目指しています。

山東省は済南市、青島市、煙台市を「三核」として計画をリードする重要な拠点と位置付けていますが、青島市は「深圳に学び、深圳を追いかける」と40年前は100年前の青島市と同じ漁村であり、面積は青島市の6分の1でありながら、GDPは2倍を生み出している深圳を目標としています。同じく「三核」で山東省の省都である済南市は上海を目標に、煙台市は同じ山東省の上位にある済南市、青島市を目標にしています。

・「四新」

語句	意味
四新	新技術、新産業、新業態、新モデルを表す語句。旧技術、旧産業、旧業態、旧モデルを置き換えることで産業構造の転換を図る。

・「中国の産業分類」（ほぼ日本と同様）

区分	業種
第一次産業	農業（プランテーション、林業、畜産、副業、漁業を含む）
第二次産業	産業（採掘産業、製造業、水道水、電気、蒸気、温水、ガスを含む）および建設
第三次産業	第一産業および第二産業を除く他の産業

出典：百度百科

3. アクションプランの発表

2019年6月14日、青島市は新旧エネルギー転換にかかるアクションプランを発表しました。「9つの主要産業の強化」、「5つの新興産業の育成」、「6つの伝統的な中心産業のアップデート」の産業に焦点を当て（「956」と略されます）、それぞれの産業に対してアクションプランが挙げられています。

青島市の特色をもつ9つの主要産業の強化では、研究施設や試験施設などのインフラ整備の中に、リニア（磁浮）試験施設もあり、青島市でのリニア計画も発表されています。もしかすると、青島市も上海と同じように、観光業が繁栄する日が来るかもしれません。

【9つの主要産業の強化】

産業	主なアクションプラン（概要）
現代海洋	メタンハイドレート開発と利用開発基盤、海洋スーパーコンピューティングセンターなどの科学技術インフラ構築を加速。海洋大学西海岸キャンパス、中国科学アカデミー海洋科学研究センターなどの海洋科学研究におけるプラットフォーム構築。
スマート家電	ハイアール社のハイエンドスマート家電製造イノベーションセンター・ハイセンス社マルチメディアディスプレイ製品の生産設備改造、オークマ（AUCMA）インテリジェント低温機器の研究開発および製品変換事業の構築。
鉄道輸送機器	国家高速列車技術革新センター、青島鉄道交通産業模範区の建設、鉄道輸送車両システム統合のための国立工学研究所、高速磁気浮上試験センター、高速磁気浮上試作センター建設。
自動車産業	燃料電池事業の導入加速。
現代金融	财富管理金融総合改革試験区の構築。「2019 青島中国財富フォーラム」の運営。「金企通」（総合金融サービスプラットフォーム）の改善。
現代物流	胶州湾国際物流園に依存するとともに、B型保税物流センターの建設を申請する。最初の国家物流ハブ建設リスト入りを目指す。
現代観光	芸術と観光の融合を加速し、博物館等周遊の観光ルートを開発。青島夜間観光ブランドの形成。研究旅行、ヘルスケア旅行などの新業態の開発。
ビジネスサービス	国内有名企業に10社以上の導入・育成。ブランド人材を育成するサービス20社を導入。
ヘルスケア	老山湾の国家健康観光実証基地の構築を推進。山東伝統医学大学青島大学院の建設。40の国立医療機関の建設。

【5つの新興産業の育成】

産業	主なアクションプラン（概要）
新世代の情報技術	12インチIDM先進アナログ集積回路、コアICDM集積回路の製造、6インチウェハー半導体パワーデバイスプロジェクトの推進。
生物医学	製薬業の強化と製薬市場の拡大。
ハイエンド機器	国家一般航空業界の包括的なデモンストラーションゾーンの建設を加速させ、中国の船舶用グリーンハイパワーエンジンと中国パワーエレクトロニクス計装

	科学技術パークの建設を推進。
省エネと環境保護	市町村レベルの省エネと環境保護の産業開発でもクラスターを 2、3 拠点、市町村レベルの省エネと環境保護産業の開発デモ拠点を 10 拠点造成する。
文化的創造性	影視（映画とテレビ）文化消費先行体験区の建設。2019 中国（青島）工芸美術博覧会および文化旅遊品交易会、2019 青島国際版權交易会などの開催。

【6つの伝統的な中心産業のアップデート】

産業	主なアクションプラン（概要）
ビジネスサービス	国境を越えた電子商取引のための包括的な試験区を構築。「青島市ショッピングフェスティバル」等一連の販売促進活動を実行して、「オンライン+オフライン」「商品+サービス」、「小売、体験」などの国境を越えた小売フォーマットの統合を推進。
食品と飲料	機能性食品企業の導入、海洋食品企業の強化と改善。
繊維と衣類	子供服産業の拡大および強化。C2M(Consumer to Manufacturing：消費者と製造現場を結ぶ)の大規模化、かつパーソナライズしたモデルを推進。
機械と装置	主要プロジェクトの構築を加速し、知能的な製造レベルを強化。
ゴムと化学産業	ハイエンド科学プロジェクトの構築を加速。ゴム材料・機器技術革新センターや国家タイヤ知能的製造・産業革新センターの建設。
近代農業	試験エリア開発。

出典：半島都市報記事

4. 「青島市」の範囲

「青島市」というと観光地のイメージが強く「栈橋」や「五四広場」など観光スポットがある市南区のある海岸沿いが中心と思われがちですが、「青島市」と呼ばれる地域は広域で胶州湾を中心とした地域一帯が「青島市」と呼ばれています。最近のインフラ整備の対象は新空港が建設されている胶州市や大学などの研究施設の移設が予定されている西海岸地区（黄島地区）が中心で市政府のある市南区（山口銀行青島支店も市南区）からすると少し寂しい気もしますが、ヘルスケア産業や、スマート家電産業（ハイアール社）は崂山地区が対象地区となっており、青島市でビジネスを展開する上では、広域となった青島市を移動するための交通手段の整備はますます重要になりますし、第三次産業の比率が高まるにつれ、日本以上にリモートワークの必要に迫られるかもしれません。

5. おわりに

産業構造の転換は容易にできるものではないと思いますが、政府が後押しするまたとないチャンスが青島市に来ているようにも見えます。

また青島市も拠点が広範囲になることで消費者層の拡大にもつながっていくと予想されます。省エネと環境保護といった振興産業や、ヘルスケアなどの第三次産業が増えてくれば、中国国内向けのビジネスの機会も広がる可能性があるのではと期待してみたくありません。

山口銀行青島支店では、中国に関する様々なご相談を承っています。青島市に関すること以外でもぜひお気軽にお問合せください。

(山口銀行青島支店 田邊 健作)

【参考文献】

- ・半島都市報 WEB 版
- ・閃電新聞 山東広播電視台 WEB 版
- ・青島政務網 HP
- ・澎湃新聞 WEB 版
- ・百度百科 HP